

結果速報

2011年5月19日(木)

メサゴ・メッセフランクフルト株式会社

ビューティーワールド ジャパン

東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東 4・5・6 ホール

2011年5月16日(月)～18日(水)

震災の影響を感じさせず、43,000人以上の来場者が集まる！

業界を盛り上げる充実の開催に！

次回の『ビューティーワールド ジャパン』は、2012年5月14日(月)～16日(水)に決定！

2011年5月16日(月)から18日(水)まで開催された国内最大の国際ビューティー見本市『ビューティーワールド ジャパン』は、東日本大震災の影響を受けながらも、11カ国・地域から362社が出展、43,218人が来場し、大好評のうちに閉幕した。会場内は、デモンストレーションや体験スペースの前に人垣ができるなど、新商品や新技術を熱心に見て回る来場者が連日集まり、震災の影響を感じさせない賑わいを見せた。またメインステージセミナーはもちろんのこと、各プレゼンテーションセミナー、今回初めて開催されたビジネスセミナーなどの併催イベントは、真剣に聴講する来場者で溢れた。マーケットの状況に即し、高度な技術や最新情報を知ることができる内容に多くの来場者から満足の声が寄せられた。会期中にはチャリティーイベント「チャリティーネイル『頑張れ日本！立ち上がれネイリスト』」も行われ、ネイルチャリティー体験は連日整理券を求める行列ができ、17日(火)のメインステージは動画でも中継され、会場以外でも多くの人に参加した。今回の『ビューティーワールド ジャパン』は、3日間の会期を通して、被災地の復興・復旧、そしてスパ・ビューティー業界の活性化につながる有意義な開催となった。

来場者数

5月16日(月) (晴れ/曇り)	17,688人
5月17日(火) (曇り/雨)	14,854人
5月18日(水) (晴れ)	10,676人
合計	43,218人

業界を盛り上げた3日間

出展者、関係者から満足のコメント

ホールの縮小もあり、震災の影響が懸念されたが、初日から多くの人々が来場し、出展者や関係者から喜びの声があがった。また今開催は、問題意識の高い、真剣な来場者が非常に多かった。ビューティー・スパ業界が厳しい状況に置かれる中、「立ち止まらず、前向きにビジネスを進めよう。」という出展者と来場者が一堂に会したことにより、多くのブースで例年以上に活発な商談が行われたとの声が多数寄せられた。

「総合美容メーカーゾーン」に出展した、『ビューティーワールド ジャパン(BWJ)』の常連出展者である(株)日本ビューティコーポレーション 営業部 部長の豊田尚之氏は、連続出展者として今回の出展への思いを次のように語った。「認知度向上のためにも、出展を継続することが大切だと考えている。今回は、BWJが震災の影響を受けながらも、予定通り開催すると聞き、「開催される以上は出展し、業界の活性化のためにも出来る限りイベントを盛り上げ、協力したい」という思いで参加した。このような時だからこそ、全体で盛り上げていくことが大事だと感じている。」

昨年と同規模のブースを設置し、連日混雑をみせたネイルパートナー(株) イベント・広報グループの佐藤由香里氏は今回の出展について次のようにコメントした。「BWJは総合美容見本市であるが、ネイルの規模が非常に大きいので、毎年必ず出展している。震災があり、出展について少し考えたが、来場者の「ネイルゾーン」への期待があると感じたこと、そして業界を盛り上げることの重要性を感じたことから、定番の製品からBWJで発表の新作まで取り揃えて出展した。会期以前よりチャリティー活動を行っているが、今回会期中にブースでチャリティーコーナーを設け、売り上げの全額を寄付する。初日から多くの人にブースを訪れてもらえ、本当に良かった。」

チャリティーイベント「チャリティーネイル『頑張れ日本！立ち上がれネイリスト』」の発起人であり、「ネイルブース」にも出展したNSJネイルアカデミーの院長 仲宗根幸子氏は、今回のチャリティーイベントについて、その熱い想いを次のように語った。「今回自分達も出展しているが、イベントや出展のキャンセルを聞き、BWJで業界を盛り上げ、ビジネスを活性化させるチャリティーイベントを行いたいと考えた。今回の震災により、被災地のサロンもダメージを受け、自粛も考えられたが、被災地のネイリスト達が元のビジネスに戻るためにも、彼女達に元気を与え、手を差し伸べることが必要だと感じた。今後は被災地のネイリストを集め、一緒に被災地でのネイルケアを行う予定で、メーカーの協賛も得ている。今回のチャリティーイベントには全国からトップネイリストが集まったが、業界発展のためには技術やネットワークを使って、最終的に被災地のネイリスト達のビジネスにつながる活動が大切だと考えている。今回BWJでこのようなイベントを開催させてもらい、本当に良かった。これをきっかけに、次の活動につなげていきたい。」

昨年新設の「ナチュラル&オーガニックゾーン」に初出展した、African Extracts Rooibos Skin Care Products Ltd.のMs.Delia LouwとMs.Liezell Van Beekは、今回の感想を次のように述べた。「ルイボスを使用した、弊社のスキンケア製品、ボディケア製品をPRしようと、BWJに出展した。日本には、一つの製品を気に入るとそれを使い続ける人が多いと感じ、多くの来場者を集めるBWJで弊社製品を紹介したいと思った。そして震災があったからこそ、今回での出展を改めて決めた。反応は驚くほど良く、来年も是非また出展したい。」

同じく初出展で「コスメティックゾーン」に出展した、(株)ギノージャパン 東京営業所 営業開発 兼 中部エリア担当の鉢嶺喜文氏は、「ギノーはフランスでシェアNo.1だが、ギノージャパンを普及させる目的でBWJに初出展した。エステサロンなど、弊社がターゲットとする来場客が多数訪れるのでBWJを選んだ。手応えは非常に良かった。」と満足のコメントを寄せた。「美容機器ゾーン」の(株)ワム 営業本部 SPD 第一 ビジネスマネージャーの木村浩美氏も「BWJは業界で最も大きな展示会であり、たくさんのビジネスチャンスが期待できる。今回はホームケア用の新商品のお披露目会であったが、大変良い手応えを感じた。」と、笑顔で語った。

メインステージの定員を大きく上回る、700人余りの聴講者を集めたのが、最終日の18日(水)の午後に開催された「美肌ホルモンマッサージ」女性ホルモンアンバランス肌におすすめのテクニック(54手技)。その講師を務めたEsthetic MORIMASA 学院長、フランス商工会議所講師、(株)トゥールビオン代表取締役の森証秀美氏は、今回のメインステージセミナーについて次のように語った。「今回たくさんのリピーターの方が全国各地から集まってくれた。こういう大変な時期に来場した聴講者は、技術を学ぶために真剣に来ていていると感じる。見本市の魅力は、一度に新製品や技術を見て、比較できることだと思う。そしてセミナーは、ライブでしか伝えられないことがたくさんある中、講師である自分にとっても、来場者にとっても本当に嬉しい機会だ。今回セミナーの中で説明とデモンストレーションの両方を行ったが、理論を知ること、より技術の意味がわかったという声が寄せられた。セミナーでは半歩先の技術を紹介し、新しい情報だけでなく、聞いてくれた人に“自分の思っていることは、やはりそうだったんだ”と確認してもらったり、“この技術をすぐに伝えたい”と思ってもらったり、やる気を持って帰ってもらいたい。セミナーを通し、一人、一人が元気になってもらいたい。そして喜ばせたいと考えている。次のセミナーも楽しみにしている。」

次回の『ビューティーワールド ジャパン』は、2012年5月14日(月)～16日(水)に開催される。また大阪で開催される姉妹見本市『ビューティーワールド ジャパン ウェスト』は、2011年10月24日(月)～26日(水)で行われる。今回の成功を受け、次回の『ビューティーワールド ジャパン』、そして『ビューティーワールド ジャパン ウェスト』の開催により一層の期待が集まっている。

問い合わせ

メサゴ・メッセフランクフルト株式会社

プレス・PR担当 久野／北島

Tel 03-3512-3277 / Fax 03-3262-8442

press@mesago-messefrankfurt.com